

⚡ 授業開始時 緊急GitHubセットアップ

授業最初の15分で完了する手順

💡 今すぐやること（授業開始0-15分）

ステップ1: アカウント作成（3分）

1. <https://github.com> を開く
2. 右上「Sign up」クリック
3. 最速入力：
 - Email: 学校メール
 - Password: 8文字以上（メモする！）
 - Username: 名前-kosen24（例: tanaka-kosen24）
4. パズル認証を解く
5. メール認証は後回し（授業後でOK）

ステップ2: テンプレートフォーク（2分）

1. 教員が黒板/画面に表示したURLを開く：



[https://github.com/\[教員ID\]/llm-rag-learning-template](https://github.com/[教員ID]/llm-rag-learning-template)

2. Forkボタン（右上）をクリック
3. そのまま「Create fork」をクリック（設定変更不要）

ステップ3: ZIPダウンロード（2分）

1. フォーク完了後、緑色のCodeボタンをクリック
2. Download ZIPをクリック
3. ダウンロード完了を待つ

ステップ4: VS Codeで開く（3分）

1. ダウンロードしたZIPをデスクトップに解凍
2. VS Code起動
3. 「ファイル」→「フォルダーを開く」
4. 解凍したフォルダを選択

✓ 最低限の準備完了！

これで授業に参加できます。以下を確認：

- GitHubアカウントができた（ログインできる）
- プロジェクトフォルダがVS Codeで開いている
- js/config.js ファイルが見える



授業中にやること

config.js の編集



javascript

```
const API_CONFIG = {
  baseURL: 'https://[教員が伝えるURL]', // 黒板を見て入力
  studentId: 'student_XXX',           // 配布された番号
  defaultOptions: {
    temperature: 0.7,
    max_tokens: 500
  }
};
```

Live Server起動

1. index.html を右クリック
2. 「Open with Live Server」選択



授業後に必ずやること

1. メール認証を完了

- GitHubからのメールを確認
- 「Verify email」をクリック

2. 成果物をアップロード

- GitHubの自分のリポジトリページへ
- 「Add file」→「Upload files」
- 作業したファイルをアップロード

3. プロフィール設定

- 就職活動で見られることを意識
- 本名と所属を記載推奨

SOS 困ったら

授業中

- 隣の人聞く（推奨）
- 教員/TAを呼ぶ
- とりあえず進める（後で修正可能）

よくあるトラブル

「Fork できない」 → ログインしているか確認

「ファイルが見えない」 → フォルダを正しく開いているか確認

「Live Serverが動かない」 → 拡張機能インストール確認（授業前準備で完了済みのはず）

💡 覚えておくこと

- 今は最低限でOK - 授業参加が最優先
- 後で整理できる - GitHubは何度でもやり直し可能
- みんな初心者 - 分からないのは普通

💡 この後の流れ



13:00 授業開始・環境準備

13:15 GitHub設定完了・LLM概要

13:30 Transformer理論

14:20 休憩（10分）

14:30 ハンズオン開始

15:50 成果物の保存

16:00 授業終了

さあ、始めましょう！🚀